

平成17年度春夏作芝関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成17年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成17年12月2日(金)に池之端文化センターにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者18名、委託関係者57名ほか、計86名の参集を得て、除草剤20薬剤(169点)、生

育調節剤3薬剤(24点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成17年度 春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類・継 続の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量mL>/㎡ ・処理方法	判定	内 容
1. ALH-024顆粒水和 新規化合物 70% [アリス ライフサイエンス]	コウライシ ハ	作用性 新規	東日本G研 西日本G研 (2)	[一年生雑草] ・雑草発生前 ・0.025, 0.05, 0.075, 0.1g <200~300> ・土壌処理	—	
	ノシハ	作用性 新規	東日本G研 西日本G研 (2)	[一年生雑草] ・雑草発生前 ・0.025, 0.05, 0.075, 0.1g <200~300> ・土壌処理		
2. BES-001顆粒水和 既知化合物A 1.25% 既知化合物B 12.5% [ハ・イェル クロップ サイエ ンス]	コウライシ ハ	適用性 新規	植調研究所 ハバ-富士CC 大阪食とみどり 新中国G研 西日本G研 (5)	[広葉雑草] ・雑草発生前 ・0.1, 0.15, 0.2g<200~300> ・土壌処理 対)インア-ルDF 0.03g<200~300>	継 続)	・成分未公開。 ・効果、薬害の確認。
	ノシハ	適用性 新規	東日本G研 佐野GC 花屋敷GC 新中国G研 門司GC (5)	[広葉雑草] ・雑草発生前 ・0.1, 0.15, 0.2g<200~300> ・土壌処理 対)インア-ルDF 0.03g<200~300>		
3. BES-002707アル オキサジクロメシ 15% オキサジアルギル 17% [ハ・イェル クロップ サイエ ンス]	コウライシ ハ	適用性 新規	アラッサムガ-デン 東日本G研 植調研究所 大阪食とみどり 新中国G研 西日本G研 宮崎CC (7)	[一年生雑草] ・雑草発生前 ・0.075, 0.1, 0.15ml<200~300> ・土壌処理 対)ウエイアツ 0.5g<200~300>	実 継 続)	実) [コウライシハ、ノシハ] 一年生雑草] ・芝生育期、雑草発生前。 ・0.075~0.15mL<200~300mL>。 ・土壌処理。 ・広葉雑草に対する効果の確認。 ・倍量薬害試験での確認。 ・連用試験での確認。 ・実証試験での確認。
	ノシハ	適用性 新規	アラッサムガ-デン 東日本G研 太平洋C美野里C 花屋敷GC 新中国G研 西日本G研 宮崎CC (7)	[一年生雑草] ・雑草発生前 ・0.075, 0.1, 0.15ml<200~300> ・土壌処理 対)ウエイアツ 0.5g<200~300>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量mL>/㎡ ・ 処理方法	判 定	内 容
4. BS-1粒 ヘンテ ィメタリン 1.1% (N:P:K=15:15:7)	コウライシ ハ	適用性 継続	グ ラッサムガ ーデン 東日本G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草(本科を除く)] ・ 雑草発生前 ・ 20, 40g ・ 土壌処理 対) テマックス 30g	実 ・ 雑 ・ 芝 ・ 20 ・ 土 ・ 実	実) [(コウライシハ、ノシハ) 一年生雑草 (本科を除く)] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 20~40g. ・ 土壌処理. ・ 実証試験での確認。
[エス・ディー・エス ハイオテック]	ノシハ	適用性 継続	グ ラッサムガ ーデン 東日本G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草(本科を除く)] ・ 雑草発生前 ・ 20, 40g ・ 土壌処理 対) テマックス 30g	・ 雑 ・ 芝 ・ 20 ・ 土 ・ 実	・ 実証試験での確認。
5. DEH-118顆粒水和 イキサベン 60% フロアラム 4%	ケンタッキー ブルーグ ラス	作用性 新規 (倍量)	グ ランディ那須GC36 東日本G研 (2)	[倍量薬害] ・ 雑草発生前 ・ 0.05g<150-200> 0.10g<300-400> 0.20g<600-800> ・ 土壌処理	実 ・ 雑 ・ 芝 ・ 0.03 ・ 土 ・ 実	実) [(コウライシハ、ノシハ、ケンタッキーブルーグラス) 広葉雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生前 (3葉期まで). ・ 0.03~0.05g<150~200mL>. ・ 土壌処理. ・ 実証試験での確認。
[タウケミカル日本]	ケンタッキー ブルーグ ラス	作用性 新規 (連用)	グ ランディ那須GC36 東日本G研 (2)	[連用薬害] ・ H17春→H17秋→H18春→H18秋 ・ 雑草発生前 ・ 0.05g<150-200> ・ 土壌処理	・ 雑 ・ 芝 ・ 0.03 ・ 土 ・ 実	・ 実証試験での確認。
	ケンタッキー ブルーグ ラス	適用性 継続	札幌国際CC 泉パークタウンGC グランドイ那須GC36 東日本G研 (4)	[広葉雑草] ・ 雑草発生前 ・ 0.03, 0.04, 0.05g<150-200> ・ 土壌処理 対) インバーナDF 0.04g<200>	・ 雑 ・ 芝 ・ 0.03 ・ 土 ・ 実	・ 実証試験での確認。
6. DH-023顆粒水和 ベントグ ラス 30%	ベントグ ラス	作用性 新規	東日本G研 (1)	[ヒシハ] ・ ヒシハ 発生前 ・ 0.1, 0.2, 0.3g<200-300> ・ 土壌処理 対) チュパサン 1.5g<300>	実 ・ 雑 ・ 芝 ・ 0.2 ・ 茎 ・ 注 ・ 実 ・ 雑 ・ 芝 ・ 0.15 ・ 土 ・ 実	(ケンタッキーブルーグラスは継続) 実) [(ベントグラス) スノカタビラ] ・ 芝生育期、 雑草発生前 (3葉期まで). ・ 0.2~0.3g<100~200mL>. ・ 茎葉処理. 注) ベントグラスの活性が低い場合には、薬害を生じることがある。 ・ 実証試験での確認。
	ベントグ ラス	作用性 新規	東日本G研 (1)	[ヒシハ] ・ ヒシハ 1~2L ・ 0.1, 0.2, 0.3g<100-200> ・ 茎葉処理 対) チュパサン 1.5g<300>	・ 雑 ・ 芝 ・ 0.15 ・ 土 ・ 実	・ 実証試験での確認。
	ケンタッキー ブルーグ ラス	適用性 新規	札幌国際CC 泉パークタウンGC 東日本G研 那須ナセリー (4)	[一年生イネ科雑草 (スノカタビラ主体)] ・ 雑草発生前 ・ 0.15, 0.2, 0.3g<100-200> ・ 茎葉処理	・ 雑 ・ 芝 ・ 0.15 ・ 土 ・ 実	・ 実証試験での確認。
7. DH-024顆粒水和 フルキサム 50%	コウライシ ハ	作用性 新規 (連用)	植調研究所 西日本G研 (2)	[連用薬害] ・ H17春→H17秋→H18春→H18秋 ・ 雑草発生前 ・ 0.3g<200-300> ・ 土壌処理	実 ・ 雑 ・ 芝 ・ 0.15 ・ 土 ・ 実	従来通り 実) [(コウライシハ、ノシハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.15~0.3g<200~300mL>. ・ 土壌処理. ・ 実証試験での確認。
[日本曹達]	ノシハ	作用性 新規 (連用)	東日本G研 新中国G研 (2)	[連用薬害] ・ H17春→H17秋→H18春→H18秋 ・ 雑草発生前 ・ 0.3g<200-300> ・ 土壌処理	・ 雑 ・ 芝 ・ 0.15 ・ 土 ・ 実	・ 実証試験での確認。

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量mL>/m ² ・ 処理方法	判 定	内 容
8. FN-502顆粒水和 カルフェントラソ・ンエチル 36.5% [石原産業]	ベ'ントグ ラス	作用性 継続 (倍量)	東日本G研 宇都宮大学 (2)	[倍量薬害] ・ 雑草生育期 ・ 0.06g<100-150> 0.12g<200-300> 0.24g<400-600> ・ 茎葉処理	実 継	[ベ'ントグ'ラス] コ'類 ・ 芝生育期、コ'類生育期 ・ 0.03~0.06g<100~200mL> ・ 茎葉処理 (1~3回) 注) コ'の再生時に散布する。 (コ'ライシ'ハ'、ノシ'ハ'の判定内容は従来 通り)
	ベ'ントグ ラス	適用性 継続	宇都宮大学 奥武蔵CC 関西G研 東広野GC 新中国G研 西日本G研 (6)	[コ'類] ・ コ'類生育期 ・ 0.03, 0.06g<100-150> 0.03g<100-150>×2-3回 (コ'類 再生期) 0.06g<100-150>×2-3回 (コ'類 再生期) ・ 茎葉処理		
9. FU-176水和 有機銅 (8-ヒト'ロキキリ ン銅) 80% [ア'ロカネショウ]	ベ'ントグ ラス	適用性 継続	東日本G研 奥武蔵CC 関西G研 新中国G研 (4)	[ギ'ンゴ'リ] ・ コ'類発生前 ・ 2.5g 2.5g×2回 (再増殖または処 理10-14日後) 2.5g×3回 (再増殖または処 理10-14日後) ・ 土壌処理	実 継	[ベ'ントグ'ラス] コ'類 ・ 芝生育期、 コ'類発生前~生育期、 ・ 10~14日間隔の2~3回処理。 ・ 2.5g<200~300mL>。 ・ 茎葉処理。 [ベ'ントグ'ラス] 藻類 ・ 芝生育期、藻類発生前。 ・ 10~14日間隔の2回処理。 ・ 2.5g<200~300mL>。 ・ 茎葉処理。 継) ・ コ'類発生前処理での効果の年次 変動の確認。 ・ 倍量薬害試験での確認。
10. FUIN-2 (BJL-861) 微粒 タ'グ'メット 98% [ア'ロカネショウ]	芝	作用性 新規	新中国G研 (1)	[一年生雑草] ・ 播種または植付3週間前 ・ 30kg/10a ・ 土壌混和处理 (処理後ビ'ニール被覆 (または鎮圧)→7-14日後ビ'ニール 除去→2回以上ガ'ス抜き)	継	継) ・ 効果、薬害の確認。
	コウライシ ハ'	適用性 新規	茨城園研 鳥取園試 (2)	[一年生雑草] ・ 植付3週間前 ・ 30kg/10a ・ 土壌混和处理 (処理後ビ'ニール被覆 (または鎮圧)→7-14日後ビ'ニール 除去→2回以上ガ'ス抜き)		
	ノシ'ハ'	適用性 新規	茨城園研 鳥取園試 (2)	[一年生雑草] ・ 播種または植付3週間前 ・ 30kg/10a ・ 土壌混和处理 (処理後ビ'ニール被覆 (または鎮圧)→7-14日後ビ'ニール 除去→2回以上ガ'ス抜き)		
	ベ'ントグ ラス	適用性 新規	東日本G研 (1)	[一年生雑草] ・ 播種3週間前 ・ 30kg/10a ・ 土壌混和处理 (処理後ビ'ニール被覆 (または鎮圧)→7-14日後ビ'ニール 除去→2回以上ガ'ス抜き)		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量mL>/㎡ ・ 処理方法	判 定	内 容
FUIN-2 (BJL-861) 微粒	ケンタッキー ブルーグラス	適用性 新規	東日本G研 (1)	[一年生雑草] ・ 播種3週間前 ・ 30kg/10a ・ 土壌混和処理(処理後ビニール被覆 (または鎮圧)→7-14日後ビニール 除去→2回以上ガス抜き)		
	ケンタッキー ブルーグラス	実証	東日本G研 (1)	[一年生雑草] ・ 播種3週間前 ・ 30kg/10a ・ 土壌混和処理(処理後ビニール被覆 (または鎮圧)→7-14日後ビニール 除去→2回以上ガス抜き)		
11. HCW-001CE Chloropropham (IPC) 50% [保土谷化学工業]	コウライシ ハ	作用性 継続 (連用)	植調研究所 新中国G研 (2)	[連用薬害] ・ H16春→H16秋→H17春→H17秋 ・ 雑草発生初期 ・ 0.8mL<200-300> ・ 土壌処理	実・ 継	実) [(コウライシ、シバ) スズメノカタビラ] ・ 芝生育期、 雑草発生初期(3葉期まで). ・ 0.4~0.8mL<200~300mL>. ・ 土壌処理. 継) ・ 倍量薬害試験での確認. ・ 実証試験での確認.
	シバ	作用性 継続 (連用)	東日本G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] ・ H16春→H16秋→H17春→H17秋 ・ 雑草発生初期 ・ 0.8mL<200-300> ・ 土壌処理		
	コウライシ ハ	適用性 継続	泉ハークタウNGC 東日本G研 佐野GC 新中国G研 西日本G研 (5)	[スズメノカタビラ] ・ 雑草発生初期 ・ 0.4, 0.6, 0.8mL<200-300> ・ 土壌処理 対) アージラン液剤 1mL<200-300>		
	シバ	適用性 継続	格蘭ディ那須GC36 東日本G研 南長野GC 新中国G研 西日本G研 (5)	[スズメノカタビラ] ・ 雑草発生初期 ・ 0.4, 0.6, 0.8mL<200-300> ・ 土壌処理 対) アージラン液剤 1mL<200-300>		
12. HW-013微粒 MCPPカリウム 3% [日本ケルシンアンドカー デン]	コウライシ ハ	作用性 新規 (倍量)	東日本G研 新中国G研 (2)	[倍量薬害] ・ 雑草生育期 ・ 20, 40g ・ 茎葉処理	実・ 継	実) [(コウライシ) 一年生広葉雑草、ク ・ ローハ、スギナ] ・ 芝生育期、雑草生育期. ・ 10~20g. ・ 茎葉処理. 継) ・ スギナに対する効果の確認.
13. KNW-504顆粒水和 フルフェナット 60% [クレハ、アガロシヤウ]	コウライシ ハ	適用性 継続	埼玉スタジアム2002 リバー富士CC 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草(ハコバを除く)] ・ 雑草発生前 ・ 0.075, 0.1g<200-300> ・ 土壌処理 対) ウェイファブフロアブル	実・ 継	従来通り(広葉雑草への拡大は継 続、シバは継続) 実) [(コウライシ) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 0.075~0.1g<200~300mL>. ・ 土壌処理. 継) ・ 広葉雑草に対する効果の確認. ・ シバでの効果、薬害の確認. ・ 発生初期処理の効果、薬害の確 認. ・ 連用試験での確認.
	シバ	作用性 新規	東日本G研 西日本G研 (2)	[一年生雑草(ハコバを除く)] ・ 雑草発生前 ・ 0.05, 0.075, 0.1g<200-300> ・ 土壌処理 対) ウェイファブフロアブル		
	シバ	適用性 新規	泉ハークタウNGC 那須ナースー 南長野GC 新中国G研 門司GC (5)	[一年生雑草(ハコバを除く)] ・ 雑草発生前 ・ 0.075, 0.1g<200-300> ・ 土壌処理 対) ウェイファブフロアブル		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量mL>/m ² ・ 処理方法	判 定	内 容
14. LNS-001顆粒水和 フルセトスルホン 50% [エ・ディー・エス バイオテック]	コウライシ ハ	作用性 継続 (連用)	東日本G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] ・ H15秋→H16春→H16秋→H17春 ・ 雑草発生初期 ・ 0.06g<100-200> ・ 茎葉処理	実 ・ 継	[コウライシハ、ノシハ] 広葉雑草 ・ 芝生育期、雑草発生初期(3葉期 まで). ・ 0.03~0.06g<100~200mL>. ・ 茎葉処理. 継) ・ 倍量薬害試験での確認. ・ 実証試験での確認.
	ノシハ	作用性 継続 (連用)	東日本G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] ・ H15秋→H16春→H16秋→H17春 ・ 雑草発生初期 ・ 0.06g<100-200> ・ 茎葉処理		
15. NOJ-120顆粒水和 トリフロキシメスルホンナトリウム塩 72% [シンジェンタ ジャパン]	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[チガヤ] ・ 雑草生育期(生育期~出穂前) ・ 0.003, 0.0045, 0.006g <150-250> ・ 茎葉処理	実 ・ 継	[コウライシハ、ノシハ] チガヤ ・ 芝生育期、雑草生育期(出穂前). ・ 0.003~0.006g<150~250mL>. ・ 茎葉処理. 注) チガヤは生育を抑制されるが、 完全枯死には至らない。 継) ・ ハーミーダググラスでの効果、薬害の 確認. (コウライシハ、ノシハ)の上記以外の判定 内容は従来通り)
	ノシハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[チガヤ] ・ 雑草生育期(生育期~出穂前) ・ 0.003, 0.0045, 0.006g <150-250> ・ 茎葉処理		
	ハーミー ダググラス	適用性 新規	浜松シサイド GC 花屋敷GC 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草] ・ 雑草発生初期 ・ 0.003, 0.0045, 0.006g <150-250> ・ 茎葉兼土壌処理		
	ハーミー ダググラス	適用性 新規	浜松シサイド GC 花屋敷GC 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草] ・ 雑草生育期 ・ 0.003, 0.0045, 0.006g <150-250> ・ 茎葉兼土壌処理		
16. OKUF-001水和 オキソホ [®] ナゾールフルマ酸塩 2.5% マンゼブ 65% [クミヤ化学工業]	ベントグ ラス	適用性 新規	東日本G研 関西G研 西日本G研 (3)	[藻類] ・ 藻類生育期 ・ 3g<500> 3g<500>×2回(再増殖始または 処理14日後) ・ 茎葉処理 対)ゴレート水和剤 2g<500>	継 ・ 継)	効果、薬害の確認.
17. SL-160水和 フラザスルホン 10% [石原産業]	コウライシ ハ	適用性 新規	関西G研 東広野GC 新中国G研 (3)	[スズメノヒエ類] ・ 雑草生育期 ・ 0.05, 0.075, 0.1g<150-200> ・ 茎葉処理 対)モキュメント顆粒水和剤 0.0045g<150-250>	実 ・ 継	[コウライシハ、ノシハ] チガヤ ・ 芝生育期、雑草生育期(出穂前). ・ 0.05~0.1g<150~200mL>. ・ 茎葉処理. 注) チガヤは生育を抑制されるが、 完全枯死には至らない。 継) ・ コウライシハ、ノシハでのスズメノヒエ類に対 する効果の確認. ・ ハーミーダググラスでの効果、薬害の 確認. (コウライシハ、ノシハ)の上記以外の判定 内容は従来通り)
	ノシハ	適用性 新規	関西G研 東広野GC 新中国G研 (3)	[スズメノヒエ類] ・ 雑草生育期 ・ 0.05, 0.075, 0.1g<150-200> ・ 茎葉処理 対)モキュメント顆粒水和剤 0.0045g<150-250>		
	コウライシ ハ	適用性 新規	関西G研 東広野GC 新中国G研 (3)	[チガヤ] ・ 雑草生育期(草丈10-15cm, 出穂 前) ・ 0.05, 0.075, 0.1g<150-200> ・ 茎葉処理		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量mL>/㎡ ・ 処理方法	判 定	内 容
SL-160水和	ノシバ	適用性 新規	関西G研 東広野GC 新中国G研 (3)	[チガヤ] ・ 雑草生育期(草丈10-15cm, 出穂前) ・ 0.05, 0.075, 0.1g<150-200> ・ 茎葉処理		
	ハ-ミュー ダ-グラス	適用性 新規	浜松-サイト GC 関西G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草、多年生広葉雑草] ・ 雑草発生初期 ・ 0.025, 0.0375, 0.05g ・ <150-200> ・ 茎葉処理		
18. YS-034粒 ブタミス 1% DCBN 0.5% (N:P:K=18:6:7) [ヤマ産業]	コウライシ バ	作用性 継続 (倍量)	新中国G研 (1)	[倍量薬害] ・ 雑草発生前 ・ 60, 120g ・ 土壌処理	実 継	実) [(コウライシ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 40~60g. ・ 土壌処理. 継) ・ 実証試験での確認.
	コウライシ バ	適用性 継続	太平洋C美野里C 佐野GC 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草] ・ 雑草発生前 ・ 40, 50, 60g ・ 土壌処理 対)タラ-乳剤 0.9mL <250>		
19. NP-63液 メコプロップ P 52% [日本曹達]	コウライシ バ	適用性 新規	東日本G研 太平洋C美野里C 埼玉スタジアム2002 新中国G研 西日本G研 (5)	[広葉雑草, スギナ] ・ 雑草生育期 ・ 0.2, 0.25, 0.5mL<200> ・ 茎葉処理	実 継	実) [(コウライシ、ノシバ、ケンタッキー- ル-グラス) 広葉雑草] ・ 芝生育期、雑草生育期. ・ 0.2~0.5mL<200mL>. ・ 茎葉処理. 継) ・ 0.2mLでの効果の年次変動の確認.
	ノシバ	適用性 新規	東日本G研 太平洋C美野里C 奥武蔵CC 新中国G研 西日本G研 (5)	[広葉雑草, スギナ] ・ 雑草生育期 ・ 0.2, 0.25, 0.5mL<200> ・ 茎葉処理		
	ケンタッキー- ル-グ ラス	適用性 新規	札幌国際CC 泉ハ-クワンGC 東日本G研 那須ナ-セリ (4)	[広葉雑草, スギナ] ・ 雑草生育期 ・ 0.2, 0.25, 0.5mL<200> ・ 茎葉処理		
20. GG-160乳 ブタミス 80% [日本グリーンアント-ガー デン]	コウライシ バ	適用性 新規	泉ハ-クワンGC 東日本G研 太平洋C美野里C 東広野GC 新中国G研 (5)	[多年生イネ科雑草(寒地型洋芝 類)] ・ 雑草生育期 ・ 0.6, 1.2, 2.4mL<300> ・ 土壌処理	実 継	実) [(コウライシ、ノシバ) ベントグラス、ケン タッキー-ル-グラス] ・ 芝生育期、雑草生育期. ・ 0.6~1.2mL<300mL>. ・ 土壌処理. 継) ・ 草種と薬量の確認. (一年生雑草に対する判定内容は 従来通り)
	ノシバ	適用性 新規	泉ハ-クワンGC 東日本G研 太平洋C美野里C 東広野GC 新中国G研 (5)	[多年生イネ科雑草(寒地型洋芝 類)] ・ 雑草生育期 ・ 0.6, 1.2, 2.4mL<300> ・ 土壌処理		

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量mL>/m ² ・処理方法	判 定	内 容
1. CG-186マイクロエマルジョン トリネキサハクエチル 10.4% [シンジエンタージャパン]	コウライシバ	適用性 継続	東日本G研 太平洋C美野里C 新中国G研 (3)	[芽数増加, 根量増加] ・芝生育期(生育旺盛期) ・0.035, 0.05, 0.075mL <100~200> ・茎葉処理	実 ・ 継	実) [(コウライシバ, ケンタッキーブルーグラス, ベントグラス) 芽数増加, 根量増加] ・芝生育期. ・コウライシバ; 0.035~0.075mL <100~200mL>. ケンタッキーブルーグラス; 0.05 ~ 0.15mL<100 ~ 200mL>. ベントグラス; 0.05 ~ 0.1mL<100~200mL>. ・茎葉処理. 継) ・バーミューダグラスでの効果の確認.
	ケンタッキーブルーグラス	適用性 継続	泉パークタウンGC 東日本G研 那須ナースリー (3)	[芽数増加, 根量増加] ・芝生育期(生育旺盛期) ・0.05, 0.1, 0.15mL<100~200> ・茎葉処理		
	バーミューダグラス	適用性 新規	浜松シーサイドGC 花屋敷GC 新中国G研 (3)	[芽数増加, 根量増加] ・芝生育期(生育旺盛期) ・0.05, 0.07, 0.1mL<100~200> ・茎葉処理		
	バーミューダグラス	適用性 新規	浜松シーサイドGC 花屋敷GC 新中国G研 (3)	[草丈抑制による刈込軽減] ・芝生育期(生育旺盛期) ・0.05, 0.07, 0.1mL<50>. 0.05, 0.07, 0.1mL<100> ・茎葉処理 対) プリモックス液剤 0.07mL<150~200>	実 ・ 継	実) [(コウライシバ, ノシバ, ベントグラス, ケンタッキーブルーグラス, バーミューダグラス) 生育抑制効果による刈込み軽減] ・芝生育期. ・バーミューダグラス; 0.05 ~ 0.1mL <50~100mL>. 0.07 ~ 0.14mL<150~250mL>. ・茎葉処理. 継) ・バーミューダグラスに対する低薬量、低水量での生育抑制効果の年次変動の確認. (コウライシバ、ノシバ、ベントグラス、ケンタッキーブルーグラスの判定内容は従来通り)
2. KUH-833FHフロアブル プロヘキサシオンカルシウム塩 25% [理研グリーン、クミアイ化学工業]	コウライシバ	適用性 新規	東日本G研 宇都宮大学 関西G研 (3)	[芽数増加] ・芝生育盛期 ・0.04, 0.06, 0.08mL<100~200> ・茎葉処理	実 ・ 継	実) [(ベントグラス) 芽数増加] ・芝生育期. ・0.04 ~ 0.06mL<100~200mL>. ・茎葉処理. 継) ・コウライシバでの効果の確認.
	ベントグラス	適用性 継続	東日本G研 宇都宮大学 関西G研 (3)	[芽数増加] ・芝生育盛期 ・0.04, 0.06mL<100~200> ・茎葉処理		
3. KUH-913液 ビスビリハクナトリウム塩 3% [理研グリーン、クミアイ化学工業]	ベントグラス	適用性 継続	札幌国際CC 宇都宮大学 静岡C浜岡C (3)	[スズメノカタビラに対する出穂抑制及び密度低減] ・芝生育期 スズメノカタビラ出穂前~ 出穂初期 ・0.1mL<100~200> ・茎葉処理	実 ・ 継	実) [(ベントグラス, ケンタッキーブルーグラス) スズメノカタビラに対する出穂抑制] ・芝生育期, スズメノカタビラ出穂前. ・0.1 ~ 0.2mL<100~200mL>. ・茎葉処理. 継) ・低薬量での効果の年次変動の確認. ・ベントグラスでの処理時期と薬害の確認、処理回数と密度低減効果について.
	ケンタッキーブルーグラス	適用性 継続	札幌国際CC 宇都宮大学 鹿島南夢科 (3)	[スズメノカタビラに対する出穂抑制及び密度低減] ・芝生育期 スズメノカタビラ出穂前~ 出穂初期 ・0.1, 0.2mL<100~200> ・茎葉処理		